

平成19年12月期 第3四半期財務・業績の概況

平成19年10月26日

上場会社名 株式会社京都ホテル 上場取引所 大証第2部
 コード番号 9723 URL <http://www.kyotohotel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島津 忠之
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 柳瀬 光義 TEL (075) 211-5111

(百万円未満切捨て)

1. 平成19年12月期第3四半期の連結業績 (平成19年1月1日 ~ 平成19年9月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年12月期第3四半期	7,431	2.8	497	64.8	94	-	63	-
18年12月期第3四半期	7,225	4.1	302	△42.0	△108	-	△161	-
18年12月期	10,293	-	857	-	309	-	239	-

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年12月期第3四半期	6	14	-	-
18年12月期第3四半期	△15	73	-	-
18年12月期	23	30	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
19年12月期第3四半期	22,625		1,380		6.1		134	05
18年12月期第3四半期	23,065		921		4.0		89	51
18年12月期	23,030		1,326		5.7		128	78

2. 平成19年12月期の連結業績予想（平成19年1月1日～平成19年12月31日）【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	10,430	1.3	959	11.9	422	36.6	268	12.1	26	03

【参考】平成19年12月期の個別業績予想（平成19年1月1日～平成19年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	10,154	1.2	348	29.9	417	33.7	267	8.5	25	93

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 — 社 除外 — 社
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無： 無
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無： 有
- (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成19年7月27日に公表しました連結及び個別の通期業績予想は、本資料において修正しております。
 上記に記載しております予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
 なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間のわが国経済は、原油価格の高騰等の不安要素はあるものの、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加や雇用情勢の改善などにより、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

京都市内のホテル業界におきましては、根強い京都人気により国内、海外からの入浴者数は増加し、客室稼働率は高水準を維持いたしました。また、新規ホテルの参入による競争激化が顕著な婚礼部門につきましては、引き続き厳しい環境が続きました。

このような状況のなか、当社は9月に大型宴会の受注に成功したことなどにより、宴会場や客室等の関連施設の利用も増加し、宿泊、一般宴会は順調に推移いたしました。また、競争激化の続く婚礼部門については、同業施設との差別化を図るため中宴会場の改修に着手し、施設の充実に努めました。

この結果、売上高は74億3,170万円（前年同期比2.8%増）となりました。

(宿泊部門)

京都ホテルオークラは改装後の客室販売が順調に推移いたしました。また、国内外の大型団体も獲得でき、売上、稼働率、平均単価共に前年を上回りました。

からすま京都ホテルは直接予約、ネット経由予約が伸び悩みましたが国内エージェント、外人旅行、法人旅行が好調に推移し、売上、室数、単価共に前年を上回りました。

この結果、売上高は23億2,084万円（前年同期比9.5%増）となりました。

(宴会部門)

京都ホテルオークラは一般宴会、会議、出張宴会において順調に国内外の大型宴会を獲得し前年を上回りました。一方、婚礼宴会は7月、9月の件数減少があり1月－9月で前年比3件増にとどまりました。

からすま京都ホテルは展示会、出張が伸び悩みましたが一般宴会、会議が順調に推移し前年を上回りました。

この結果、売上高は26億4,287万円（前年同期比1.3%増）となりました。

(レストラン部門)

京都ホテルオークラは「ピトレスク」「オリゾンテ」「レックコート」「桃李」など順調に推移し前年を上回りましたが「ときわ」「バルカント」が伸び悩み、全体では前年を下回る結果となりました。

からすま京都ホテルは「桃李」「すすまり」が順調に推移しましたが「グランドール」の前年対比減をカバーするに至りませんでした。

この結果、売上高は19億83万円（前年同期比0.9%減）となりました。

部門別の売上高および構成比等は、以下のとおりです。

	19年12月期第3四半期 (自平成19年1月1日～至平成19年9月30日)		18年12月期第3四半期 (自平成18年1月1日～至平成18年9月30日)		増減
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減率(%)
宿泊部門	2,320	31.2	2,119	29.3	9.5
宴会部門	2,642	35.6	2,609	36.1	1.3
レストラン部門	1,900	25.6	1,918	26.6	△0.9
その他部門	567	7.6	577	8.0	△1.8
合計	7,431	100.0	7,225	100.0	2.8

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は、現金及び預金、売掛金の増加はあったものの、有形固定資産の減価償却実施等により、前第3四半期に比べ4億3,967万円減少し、226億2,596万円となりました。

負債につきましては、長期借入金、短期借入金の返済および保証金の返還により、前第3四半期に比べ8億9,795万円減少し、212億4,572万円となりました。

また、純資産は利益剰余金が前第3四半期に比べ4億6,517万円改善したことにより、13億8,023万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

売上高に関しましては、婚礼件数の減少により予想を僅かに下回る見込みですが、収益率の高い宿泊部門におきましては、国内外の団体の増加等による高い稼働率（京都ホテルオークラ82.5%、からすま京都ホテル85.7%）を維持できたことに加え、客室改装効果による単価アップも図れて売上高が増加しました。

さらに水道光熱費など経費のさらなる削減に努めた結果、営業利益、経常利益、当期純利益が前回発表を上回る見込であります。

したがいまして、通期の連結・個別業績予想につきましては、上記の理由により修正いたします。

なお、平成19年7月27日の中間決算短信で公表いたしました通期の業績予想との差異は以下のとおりです。

(1) 平成19年12月期連結業績予想の修正(平成19年1月1日～平成19年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回業績予想(A)	10,499	866	322	217	21円08銭
今回業績予想(B)	10,430	959	422	268	26円03銭
増減額(B-A)	△69	93	100	51	4円95銭
増減率(%)	△0.6	10.7	31.0	23.5	23.5
(参考)前期実績(平成18年12月期)	10,293	857	309	239	23円30銭

(2) 平成19年12月期個別業績予想の修正(平成19年1月1日～平成19年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回業績予想(A)	10,222	278	324	220	21円37銭
今回修正予想(B)	10,154	348	417	267	25円93銭
増減額(B-A)	△68	70	93	47	4円56銭
増減率(%)	△0.6	25.2	28.7	21.4	21.3
(参考)前期実績(平成18年12月期)	10,035	268	312	246	23円92銭

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(固定資産の減価償却方法の変更)

当連結会計年度から法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降取得の固定資産については改正法人税法に規定する償却方法により減価償却費を計上しております。

なお、この変更に伴う営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成18年12月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成18年12月期末)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	1,462,705	1,520,369	57,664		1,423,072
2. 売掛金	411,185	484,029	72,843		580,314
3. たな卸資産	76,155	69,879	△6,275		113,512
4. 繰延税金資産	—	68	68		—
5. その他	84,296	76,912	△7,384		57,899
貸倒引当金	△1,553	△1,378	175		△979
流動資産合計	2,032,790	2,149,882	117,091	5.8	2,173,820
II 固定資産					
1. 有形固定資産	20,562,302	20,048,656	△513,646		20,389,108
2. 無形固定資産	34,992	36,569	1,576		38,723
3. 投資その他の資産	435,548	390,854	△44,693		428,370
固定資産合計	21,032,843	20,476,079	△556,763	△2.6	20,856,202
資産合計	23,065,633	22,625,962	△439,671	△1.9	23,030,023

科目	前年同四半期末 (平成18年12月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成18年12月期末)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 買掛金	193,005	140,604	△52,401		294,403
2. 短期借入金	2,547,300	2,427,000	△120,300		2,427,000
3. 1年以内返済予定 長期借入金	575,800	590,800	15,000		575,800
4. 未払法人税等	23,033	19,545	△3,487		16,105
5. 未払金	382,896	441,809	58,913		528,516
6. その他	666,653	632,693	△33,959		503,834
流動負債合計	4,388,688	4,252,453	△136,235	△3.1	4,345,659
II 固定負債					
1. 長期借入金	15,869,620	15,232,420	△637,200		15,576,820
2. 退職給付引当金	170,114	159,532	△10,582		169,787
3. 預り保証金	1,630,525	1,513,029	△117,495		1,522,777
4. 役員退職慰労引当 金	64,731	70,756	6,024		66,897
5. 繰延税金負債	20,004	17,533	△2,471		21,836
固定負債合計	17,754,994	16,993,270	△761,724	△4.3	17,358,119
負債合計	22,143,683	21,245,724	△897,959	△4.1	21,703,778
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	950,000	950,000	—		950,000
2. 資本剰余金	209,363	209,363	—		209,363
3. 利益剰余金	△252,597	212,573	465,170		149,352
4. 自己株式	△14,106	△17,371	△3,264		△14,445
株主資本合計	892,658	1,354,564	461,906	51.7	1,294,270
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評 価差額金	29,291	25,673	△3,618		31,974
評価・換算差額等 合計	29,291	25,673	△3,618	△12.4	31,974
純資産合計	921,950	1,380,237	458,287	49.7	1,326,244
負債、純資産合計	23,065,633	22,625,962	△439,671	△1.9	23,030,023

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成18年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	増減		(参考) 前期 (平成18年12月期)
	金額(千円)	金額(千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額(千円)
I 売上高	7,225,986	7,431,704	205,717	2.8	10,293,019
II 売上原価	1,556,788	1,562,317	5,529	0.4	2,236,811
売上総利益	5,669,198	5,869,386	200,187	3.5	8,056,207
III 販売費及び一般管理費	5,367,138	5,371,652	4,513	0.1	7,198,842
営業利益	302,059	497,734	195,674	64.8	857,364
IV 営業外収益	11,192	11,310	117	1.1	13,894
1. 受取利息	3,387	1,284			3,459
2. 受取配当金	1,605	1,461			2,007
3. 受取手数料	—	2,748			3,563
4. その他	6,198	5,816			4,864
V 営業外費用	421,661	414,180	△7,481	△1.8	561,682
1. 支払利息	394,996	386,761			524,906
2. その他	26,665	27,418			36,775
経常利益又は経常損失(△)	△108,409	94,864	203,273	—	309,577
VI 特別利益	—	700	700	—	834
1. 貸倒引当金戻入益	—	700			834
VII 特別損失	47,709	19,091	△28,617	△60.0	60,090
1. 減損損失	26,322	—			26,322
2. 固定資産除却損	21,387	12,911			33,768
3. 差入保証金償却損	—	1,119			—
4. カードポイント付与過年度繰入額	—	5,061			—
税金等調整前四半期(当期)純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△156,119	76,472	232,591	—	250,321
税金費用	5,840	13,251	7,411	126.9	10,330
四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△)	△161,959	63,220	225,179	—	239,990

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第3四半期(自平成19年1月1日 ～ 至平成19年9月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年12月31日 残高 (千円)	950,000	209,363	149,352	△14,445	1,294,270
当四半期中の変動額					
四半期純利益(千円)			63,220		63,220
自己株式の取得(千円)				△2,925	△2,925
株主資本以外の項目の四 半期連結会計期間中の変 動額(純額)(千円)					
当四半期中の変動額合計 (千円)			63,220	△2,925	60,294
平成19年9月30日 残高 (千円)	950,000	209,363	212,573	△17,371	1,354,564

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
平成18年12月31日 残高 (千円)	31,974	31,974	1,326,244
当四半期中の変動額			
四半期純利益(千円)			63,220
自己株式の取得(千円)			△2,925
株主資本以外の項目の四 半期連結会計期間中の変 動額(純額)(千円)	△6,301	△6,301	△6,301
当四半期中の変動額合計 (千円)	△6,301	△6,301	53,993
平成19年9月30日 残高 (千円)	25,673	25,673	1,380,237